

発表資料

機側警備 [地上作業監視] DX化検討

2024年6月20日
関西エアポート株式会社
セコム株式会社

1. 機側警備DX化検討の取組み経緯

検討開始時期：2022年 12月～（本格的な復便増加時期）

関西エアポート（空港運営会社）

- ・復便、増便に必要な警備員の不足
- ・エプロン業務全般のDX化検討
- ・空港の安全運用向上に向けた対策検討

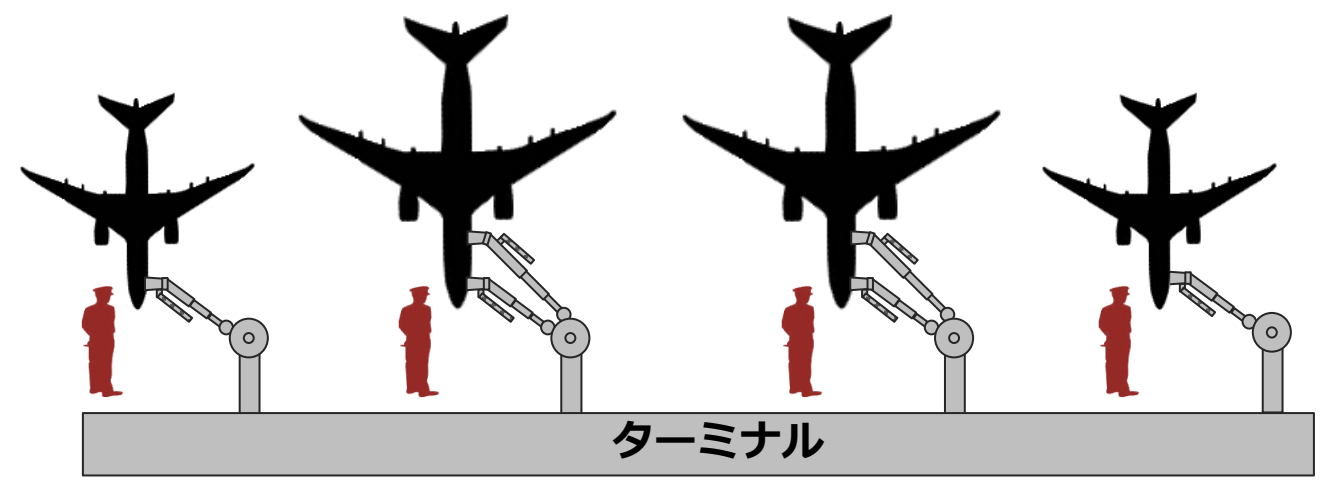
セコム（警備会社）

- ・空港警備の人手不足深刻化
- ・機側警備担当会社の困窮状態の把握
- ・デジタル庁の「アナログ規制見直し」取組

協議・検討

両社で持続可能な警備体制の検討をスタート！

<現警備体制（PBB立哨）> ※原則 1機に1名



<新警備体制> (巡回+カメラ監視+緊急対処)

